



そだてよう すこやかな心とからだ あなたの“すこやか”を応援します！

すこやか だより

編集・発行 西之表市健康保険課健康増進係 保健センターすこやか
電話 0997-24-3233 (平日のみ)

2023年7月25日発行

2023年度

感染対策②
号

「ウィズ・コロナ」
みんなで支えあおう



感染症の拡大について

新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが、5月8日から5類に見直されましたが、**新型コロナウイルスがなくなったというわけではありません。**5類移行後の感染対策については、**市民の皆さまの自主的な取組を基本としたものになります。**手指消毒や換気、マスクの着用などは基本的な感染対策として有効であるといわれています。あわせて同時流行しているインフルエンザやヘルパンギーナ(乳幼児がかかりやすい夏かぜ)などへの備えも必要です。

医療現場においては、特に7月に入り、発熱外来等による患者が増加傾向にあります。医療がひっ迫しないためにも、市民の皆さまには体調管理に十分ご留意いただくとともに、体調不良による医療機関での受診時や、高齢者等重症化リスクの高い方と会われる際には、引き続き、場面に応じた自主的な感染対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

- ① 日頃から健康状態のセルフチェックを心がけてください。体調がすぐれない方は、大勢の人が集まる場所への外出はなるべく控えてください。
- ② 手指消毒や定期的な換気、場面に応じたマスクの着脱などといった感染防止対策へのご協力をお願いします。また、ヘルパンギーナは、飛沫や接触により感染しやすい感染症です。咳などの症状がある場合はなるべくマスクを着用する(熱中症対策にも十分気をつけてください。)、また石けんによる手洗いなど手指衛生を推奨します。
- ③ 保育施設などの乳幼児の集団生活で感染を拡げないためには、石けんで手洗いをすることが有効的です。
- ④ 発熱やのどの痛みなど症状がある場合は、事前に医療機関に連絡のうえ、受診してください。

鹿児島県の感染状況について

6/12 から 7/9 までの1週間ごとの感染状況は下記のとおりです。

		第24週 6/12~6/18	第25週 6/19~6/25	第26週 6/26~7/2	第27週 7/3~7/9
インフルエンザ	報告数	960人	1,646人	1,826人	2,485人
	定点あたり	10.55人	18.09人	20.07人	27.31人
	前の週比較	+496人	+686人	+180人	+659人
新型コロナ	報告数	874人	1,066人	1,227人	1,563人
	定点あたり	9.60人	11.71人	13.48人	17.18人
	前の週比較	+203人	+192人	+161人	+336人

※県内の定点医療機関数は91

報告数：県内91医療機関から報告のあった数

定点あたり：報告数を県内91医療機関で割った1医療機関当たりの平均値

[1 ページ目下段にある表の見方] インフルエンザの場合

例) 27週の場合 (7/3~7/9)

- ・報告数：県内91医療機関からの感染者報告数は、2,485人…①
 - ・定点あたり：①÷91医療機関=27.31人…②
- ⇒鹿児島県では、7/3~7/9までの1週間に、県内の91医療機関から感染が報告された人数は2,485人で、1医療機関当たりの平均患者数は27.31人となった。前の週と比較すると、659人増えている。

西之表保健所管内 (1市2町) の感染状況について

6/12 から 7/9 までの1週間ごとの感染状況は下記のとおりです。

		第24週 6/12~6/18	第25週 6/19~6/25	第26週 6/26~7/2	第27週 7/3~7/9
インフルエンザ	報告数	36人	80人	50人	70人
	定点あたり	18.00人	40.00人	25.00人	35.00人
	前の週比較	+30人	+44人	△30人	+20人
新型コロナ	報告数	29人	122人	108人	129人
	定点あたり	14.50人	61.00人	54.00人	64.50人
	前の週比較	+24人	+93人	△14人	+21人

※西之表保健所管内の定点医療機関数は1

報告数：保健所管内1医療機関から報告のあった数

定点あたり：報告数を保健所管内1医療機関で割った1医療機関当たりの平均値
(定点医療機関内に内科と小児科がそれぞれある場合は、2で割った平均値)

[上記表の見方] インフルエンザの場合

例) 27週の場合 (7/3~7/9)

- ・報告数：西之表保健所管内2医療機関からの感染者報告数は、70人…①
 - ・定点あたり：①÷1医療機関(内科・小児科の2科あり)=35人…②
- ⇒西之表保健所管内では、7/3~7/9までの1週間に、1医療機関(内科・小児科の2科あり)から感染が報告された人数は70人で、1医療機関当たりの平均患者数は35.00人となった。前の週と比較すると、20人増えている。

県内感染状況の分析

●第27週(7/3~7/9)

インフルエンザ

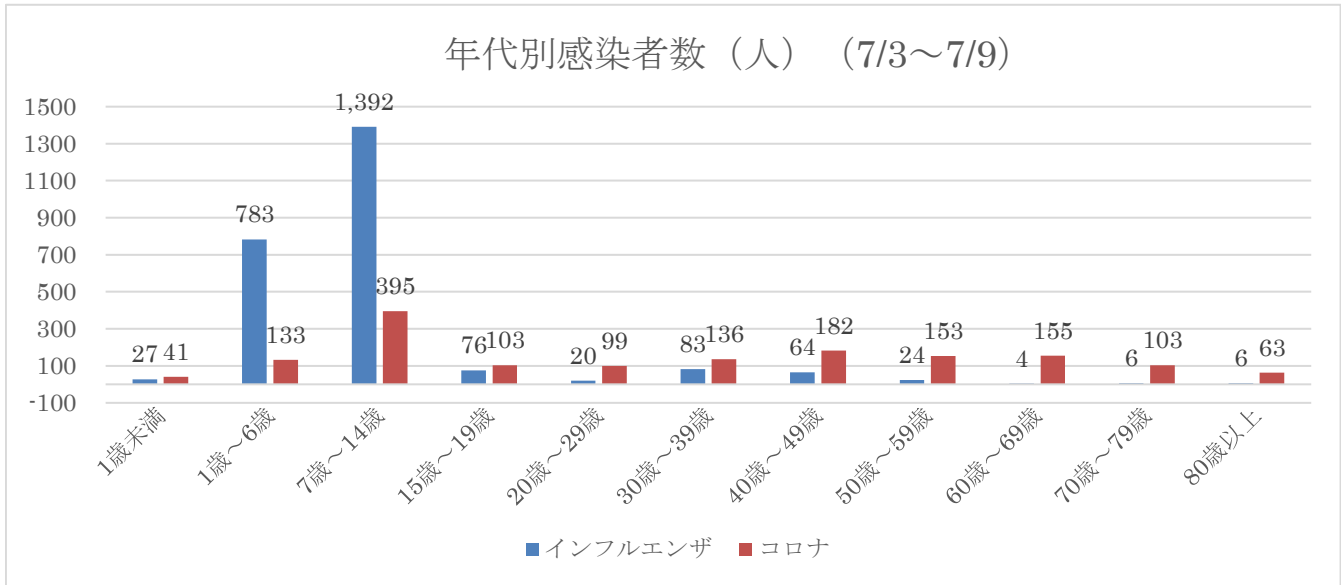
- ・県内の報告数は2,485人で、前の週より659人多く、1医療機関当たりの平均報告数は27.31人となった。
- ・年代別では、10歳~14歳が最も多く全体の約25%、次に7歳と8歳がそれぞれ10%強であり、子どもの感染が多い。
- ・県内14保健所別の1医療機関当たりの平均感染者数を比較した場合、西之表保健所管内(1市2町)は、4番目に多く35人となった。

新型コロナウイルス感染症

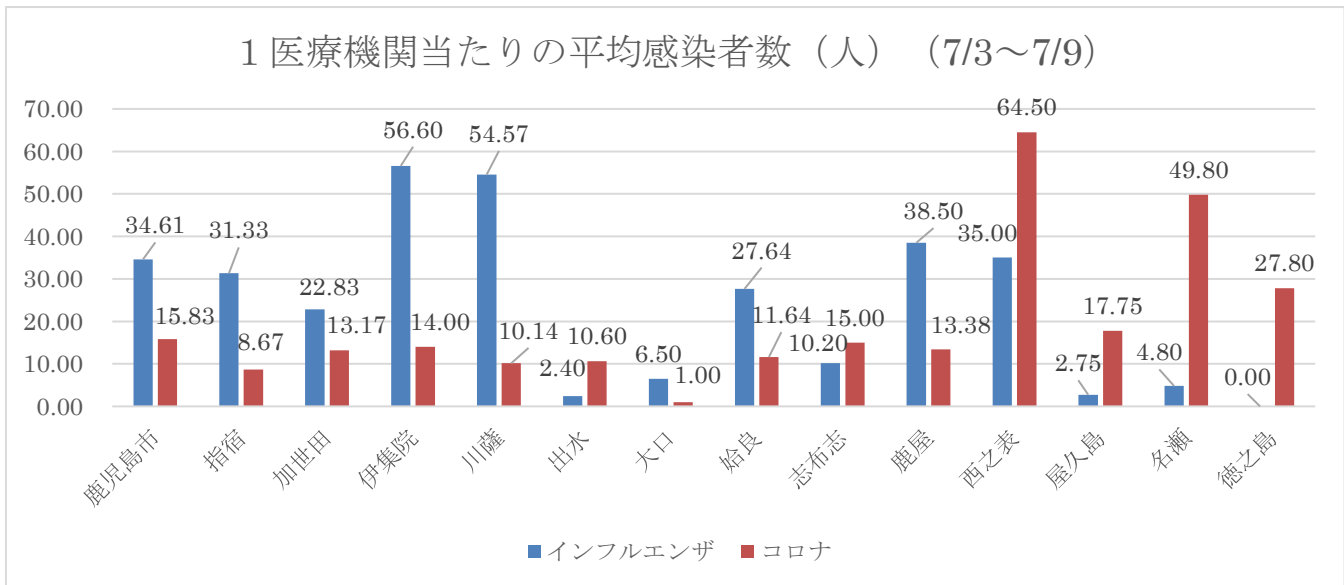
- ・県内の報告数は1,563人で、前の週より336人多く、1医療機関当たりの平均報告数は17.18人となった。
- ・年代別では、10歳~14歳が最も多く全体の約17%、次に40歳~49歳が約12%、50歳~59歳及び60歳~69歳が続き、それぞれ約10%となった。

- ・ 県内 14 保健所別の 1 医療機関当たりの平均感染者数を比較した場合、西之表保健所管内（1市2町）が1番多く64.50人となった。

【参考】



※県内 9 1 医療機関から報告のあった感染者数を年代別で比較しています。



※保健所別で 1 医療機関あたりの平均感染者数を比較しています。

新たに確認された感染数の発表について

当初の感染者数の発表については、すべての医療機関から感染者の報告をもとめ、それを集計して、都道府県ごと、市町村ごとに毎日発表されていました。

昨年秋以降、全国的な感染爆発により、感染リスクの高い高齢者や妊婦の方などに限定して報告を求め、それ以外の方々については総数による報告のみとなったことから、市町村ごとの感染者数は発表されなくなりました。

5類移行後は、指定された全国およそ 5,000 の医療機関からの週1回の報告をもとに、週1回の発表となりました。定点把握により、全数の感染者の把握はできなくなり、一部の医療機関で確認された感染者数から感染の推移をみるものに変更されています。インフルエンザも同様の対応となっています。



今こそ、感染対策にご理解・ご協力を！

全国的にもゆるやかな感染拡大が続いており、特に若い世代での感染が中心になっていますが、これが高齢者の方々に広がれば、医療現場がひっ迫することが考えられます。

本県の新型コロナウイルス感染症の患者は、全国でも沖縄につぎ2番目の多さとなっており、西之表保健所管内では、県内保健所別での感染者が1番多い状況です。

感染拡大にはさまざまな要因があろうかと思いますが、「感染症法上の位置づけが変更され、マスクの着用などが個人の判断となったこと、ワクチン接種から時間が経過したことで、免疫が低下している人が増えていること」などが挙げられます。



これから夏休みを迎えるにあたり、旅行やお盆の帰省などで社会活動が活発になり、人と人とが接触する機会がさらに増えていきます。

いまこそ、おひとりおひとりが、「新型コロナウイルスはなくなったわけではない。」ということを再認識し、感染のリスクを考えながら行動する必要があります。

5類移行後の具体的な対応については、市HPや4月25日付けで全戸配布した「すこやかだより 感染対策①号」に掲載していますので、今一度ご確認ください。

ワクチン接種については、政府の方針に基づき接種を行っておりますが、6月から実施してきた「春開始接種(対象:65歳以上・基礎疾患のある方)」は、7月末をもっていったん終了し、次の「秋開始接種(対象:初回接種を終了した5歳以上のすべての方)」を9月以降に開始予定としております。本市における接種スケジュールが決まり次第、対象者あてに接種券付き予診票等を発送及び防災無線や市の広報紙等を活用して周知いたしますので、接種を希望する方は、今しばらくお待ちください。



市民の皆さまには、たいへんご不便をおかけしますが、引き続き場面に応じたマスクの着用や手指消毒、換気などといった感染予防にご理解とご協力をお願いします。